

【開催要領】

第 209 回農林交流センターワークショップ

メッシュ農業気象データ利用講習会

平成 30 年 1 月 25 日(木)～1 月 26 日(金)

内 容 :

近年の温暖化により、高温による減収や品質低下が各地で問題となりつつあり、これを克服する技術の開発が全国で進められています。また、農業人口の高齢化に伴って「担い手」に集積する多種の小規模・分散圃場を効率的に経営するために、機材の稼働や労働が平準化するよう、多数の作物や品種を分散して上手に管理する技術が求められています。

メッシュ農業気象データシステムは、これら技術の高度な需要にも対応することを目標に開発された新しい気象情報サービスで、1980 年から来年までの広い期間の多彩な日別気象値を 1km メッシュで全国についてオンデマンドで取得することができます。

本ワークショップは、メッシュ農業気象データについて理解するとともに、プログラミング言語 Python や表計算アプリでこれを処理する技術を習得します。

期 間 : 平成 30 年 1 月 25 日(木)～1 月 26 日(金)

場 所 : 農研機構 農業環境変動研究センター大会議室 (つくば市観音台 3 - 1 - 3)

主 催 : ○農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
○国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター

対 象 : 産学官で研究・開発に従事している方で、気象データの農業利用に関心のある方

募 集 人 数 : 30 名

日 程 : 日程表(別紙)

※全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。

用 意 する 物 : ノート PC (※下記条件をご確認下さい。)

- 1.無線または有線の LAN 接続機能を有する PC をご用意ください。
- 2.Windows7 以降、または、Mac OS X 10.11 以降を OS とする PC をご用意ください。
- 3.ソフトウェアならびにプリンターのインストール権限を有する PC をご用意ください。
実習で ANACONDA(<https://www.anaconda.com/>)、Canon LBP9950C を使用します。
- 4.Microsoft Excel バージョン Excel2007 以降が利用可能な PC をご用意ください。
実習にて Excel で気象データの処理をします。

【その他】

アカウント名に日本語を使用しているとアプリケーションが誤作動を起こすことがある為、
受講決定後、アルファベットのアカウントを別途作成して頂きます。(※権限は一般ユーザで構いません)

申込方法：下記にて12月18日（月）までにお申し込み下さい（必着）。

- 農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方
筑波産学連携支援センターのホームページから「申込書・アンケート」をダウンロードし、所属機関の窓口を通じてお申し込み下さい。
- 上記以外の方（大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方）
筑波事務所のホームページのお申し込みフォーム
(<https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/tbh/209meteorological>)
からお申し込み下さい。
(なお、申込書に記載の個人情報は本ワークショップに係る事以外に使用することはありません。)

受講者の決定：12月26日頃、メールにてお知らせいたします。

参加費：無料 ※受講後のアンケート回答は必須です(5～15分程度)。

交通・宿泊費等：各自負担(筑波産学連携支援センターの宿泊施設をご利用いただけます。) 宿泊施設予約の有無は、受講決定後にお伺いいたします。

お申し込み・お問合せ先

〒305-8601 茨城県つくば市観音台 2-1-9

農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
コーディネーション推進課 鈴木・木暮（きぐれ）

TEL：029-838-7136 FAX：029-838-7204

✉：koryu7129@cc.affrc.go.jp

【日 程 表】
第 209 回農林交流センターワークショップ
メッシュ農業気象データ利用講習会

平成 30 年 1 月 25 日(木)～1 月 26 日(金)

1 月 25 日 (木)

9:00-09:05	挨拶	農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課長	加藤 隆
9:05-09:20		オリエンテーション	大野宏之
9:20-09:40		参加者自己紹介(グループ毎)	
9:40-10:10	講義	メッシュ農業気象データシステムの概要	大野宏之
10:10-10:20	(休憩)		
10:20-11:00	実習	プログラミング言語 Python の開発環境構築	大久保さゆり
11:00-12:00	実習	Python によるプログラミングの基礎	片柳薫子
12:00-13:00	(昼食)		
13:00-14:10	実習	メッシュ農業気象データの処理 1 (Python による処理)	小南靖弘
14:10-14:50	実習	メッシュ農業気象データの処理 2 (MS-Excel による処理)	根本 学
14:50-15:00	(休憩)		
15:00-15:30	講義	メッシュ農業気象データの特性について	桑形恒男
15:30-16:00	講義	メッシュ農業気象データの活用事例	佐々木華織
16:00-17:00	討論	グループで開発するアプリケーションの検討	大野宏之

1 月 26 日 (金)

9:00-09:05		オリエンテーション	大野宏之
9:05-12:00	実習	グループごとにメッシュ農業気象データを利用するアプリケーションを開発	
12:00-13:00	(昼食)		
13:00-14:45	発表	グループで開発したアプリケーションの発表	大野宏之

【講 師】 (◎はコーディネーター)

- ◎大野 宏之 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主席研究員
- 大久保さゆり 農研機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 主任研究員
- 片柳薫子 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 研究員
- 小南靖弘 農研機構 北海道農業研究センター大規模畑作研究領域 グループ長
- 根本 学 農研機構 北海道農業研究センター 生産環境研究領域 主任研究員
- 桑形恒男 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主席研究員
- 佐々木華織 農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主任研究員